

# 桜木東だより

校訓  
夢をもち  
よく学び  
よく遊び  
よく鍛えよ

桜木東小 学校便り No.26

発行日 令和7年1月14日

校長 片山 明光

【学校教育目標】 夢をもち 人間性豊かで たくましく 創造的に生き抜く児童の育成

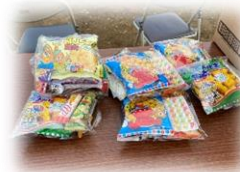
## 今年もいい年になりますように!!

1月13日(月・祝)に桜木東校区の鶯川調整池(旧桜木東広場)で「どんどや」が行われました。前日に「すぐー」でやぐらの組み立ての人員が足りていないとの連絡があったので、私も参加しました。まず調整池に初めて入っていったのですが、かなりの広さ・深さにびっくりしました。地面もしっかり乾いており、日頃何かに使えないものかと思ったほどでした。事前に切ってきてあった竹を地面で組み、大人数でロープをつかみ引き上げました。そしてそこに竹や製材所からもらってきたといわれていた廃材を入れていきました。そこに灯油をかけて、開始時刻の9時を待ちました。9時が近づくと、地域の方が続々と正月飾りをもってこられました。点火されると勢いよく炎が上がっていきました。時々「パーン」と竹が破裂する音がして、見に来ていた子どもたちがびっくりしていました。来てくれた子どもたちには、お菓子も配られていました。何種類かのお菓子が一人分ずつ袋詰めされていました。なんでも、地域の伝統行事について知ってほしいから参加してくれるように配っているということでした。



正門前の門松に植えられていた松や南天です

「どんどや」には、正月飾りを目印に家に来てくださった年神様を、燃やした煙とともに見送るという意味もあるそうです。また縁起物を燃やして、五穀豊穡、商売繁盛、家内安全、無病息災を願います。今年も桜木東小の子どもたちが健康でまっすぐに成長してくれることを私も祈ってきました。



たくさんのお菓子を準備していただきました。感謝!

子どもたちが地域の行事に参加することは、その行事の背景にある歴史や意味を学び地域の文化を次の世代に伝えるという意味でも大切だと感じました。また地域の方との交流を通じて、「地域の一員」ということを自覚することができ、地域社会のつながりを深めることができるとも感じました。

## 遅ればせながら、年末に門松を立てていただきました

学校便りに載せるのが遅くなりましたが、昨年(2024年)の12月17日(火)に地域の自治会の方々19人に来ていただいて、本校のふるさとクラブの児童と一緒に門松づくりを行いました。初めに「門松」についての説明があり、準備された竹、松、南天、葉牡丹などを一緒に植え、高さ約3mの立派な門松が本校の正門前に飾られました。2学期の終業式に、「門松は各家庭をまわり幸福をもたらす『年神様』を迎える目印であること」

「様々な年末年始の行事・風習について調べても面白いですね」などと、話したところでした。「どんどや」もそうですが、学校だけではできない学習が地域の方々の協力のできることをとてもありがたく思っています。今後も子供たちの成長のために一緒に行っていきたいと考えています。



門松の土台を締めてある縄も下から7巻き、5回巻き、3巻きと決まっているそうです。

